

内閣府特命担当大臣（国家戦略特別区域）

石破 茂 様

国の施策等に関する 提案・要望書

（平成27年12月）

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥	取	県	知	事	平	井	伸	治
鳥	取	県	議	会	議	長	正	一
鳥	取	県	市	長	会	長	義	彦
鳥	取	県	市	議	会	議	昌	光
鳥	取	県	町	村	会	長	哲	司
鳥	取	県	町	村	議	会	議	治
鳥	取	県	議	会	議	長	会	長

地方創生を実現するための地方分権改革の推進について

《提案・要望の内容》

- 地方版ハローワークやハローワーク特区の全国展開などハローワークの地方移管を実現すること。
- 平成 27 年の地方からの提案等に関する対応方針に基づき、法律改正事項については一括法を早期に成立させるとともに、事務・権限の移譲等が円滑に行われるよう、確実な財源措置、移譲等のスケジュールの調整、研修の実施、マニュアルの整備等を早期に実施すること。

ジオパーク活動の取組への支援について

《提案・要望の内容》

○先月開催されたユネスコ総会において、世界ジオパークが、世界遺産と同じユネスコの正式プログラムとして承認された。これを契機に、国内のユネスコ世界ジオパーク地域では、観光関係者、学術関係者等と連携し、地域をあげて、ジオパークの教育・観光活用、保護保全活動や調査研究活動等に積極的に取り組むこととしている。ユネスコ世界ジオパークの取組が一層発展するよう支援を行うこと。

- ①国内のユネスコ世界ジオパーク地域における取組は、地方創生の大きな柱であり、予算面等で積極的に支援すること
- ②観光庁をはじめ国の関係省庁と連携し、ユネスコ世界ジオパークの観光活用、情報発信等の取組を進めること
- ③学校教育や社会教育でのユネスコ世界ジオパークの活用を進めること

《国内のユネスコ世界ジオパーク》

アポイ岳、洞爺湖有珠山、糸魚川、山陰海岸、隠岐、室戸、島原半島、阿蘇

《山陰海岸ジオパーク》

■テーマ：日本海形成に伴う多様な地形・地質・風土と人々の暮らし

- ・H22 (2010) 10月 世界ジオパークネットワークに加盟
- ・H26 (2014) 9月 世界ジオパークネットワークに加盟再認定
- ・H27 (2015) 11月 ユネスコ世界ジオパークとして承認



(鳥取砂丘)



(浦富海岸)



《主な取組》

○保護保全活動

山陰海岸ジオパーク保護保全管理計画を策定し、ジオサイト（見どころ）の点検調査などを実施

○教育普及・調査研究活動

小学校等でのジオパーク学習の実施、研究者や学生などの学術研究や調査を支援

○ガイドの育成

ジオガイドの資質向上と連携を図るため、研修会や交流会を開催

○ジオツーリズムの推進

ロングトレイルのコース整備・運用、モニタツアーの実施、教育体験プログラムの造成、旅行会社へのツアー造成支援などの推進

○普及啓発・情報発信

エリア内でのウォーキング大会・スタンプラリー・写真コンクール、首都圏・京阪神でのPRキャンペーン、テレビ・雑誌等でのPRなど

○国際会議の開催

平成27年9月に「第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム」を開催。